

八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 質問一覧表

基本目標	該当ページ	質 問 内 容	回 答
1	4	4ページ、地産地消推進事業について、野菜直売所が「日曜日も開いていれば」との声を耳にしますが、日曜日に営業することは難しいのでしょうか。	ふれあい農産物直売所は、中央卸売市場等の主要な青果市場の休業日に合わせて日曜日と水曜日が休業日となっています。 日曜日の営業については、直売所のスタッフの体制や休日、また、販売する農産物の品揃えや来客者数など課題があることから、JAや出荷者の調整が必要であると考えます。
2	20	20ページ、コミュニティ施設整備事業のコミュニティセンターの施設活用について、アクセスや駐車環境等の理由により実施に至らなかったとあります。実際、利用者の方からも駐車場の数が少なく利用しづらいと聞きます。 今後この施設の活用を考えているようですが、活用できる対策はあるのでしょうか。	平成29年度までは、NPOや市民団体との協働によるサロン運営を視野に入れ、打診を行っていましたが、アクセスや駐車場環境により事業の実施が困難であるとの話もあり、実施に至りませんでした。 今後の活用については、より地域に密着した施設として、近隣地域の小中高校生を含む住民が自転車等で気軽に、また、自由に集えるスペースとしてPRを行うとともに、混雑時の温水プール駐車場利用についても協議をしていけるよう調整してまいります。また、現在解体中のし尿処理施設跡地に駐車場の整備及び八潮市側に駐車場の出入口を設置していただけるよう申し入れを行っています。
3	37	37ページ、家庭教育推進事業について「いのちの授業」は、なぜ、小学校10校では実施できないのでしょうか。	「いのちの授業」は、平成23年度から中学校5校でクラス単位で2学期中（9月から12月）の期間に実施しております。 平成26年度から小学校での実施を開始する際、実施できる期間が限られているため、講師及び学校と協議した結果、まずは3校（八條、大曾根、大瀬）から実施することとなったものです。 なお、現在は4校で実施しておりますが、講師及び学校と協議しながら、今後も開催校を増やせるよう調整してまいります。
4	40	40ページ、地域防災力向上事業の実施状況で平成27年度に整備した離乳食などの食料品の賞味期限は何年ですか。 また、親子防災教室、防災知識出前講座の内容と受講者の延べ人数を教えてください。	平成27年度に購入した離乳食等の食料品は、離乳食720食、ビスコ保存缶400缶、粉ミルク300缶です。賞味期限は、離乳食：平成30年5月21日。ビスコ保存缶：平成32年12月。粉ミルク150缶：平成28年11月。粉ミルク150缶平成29年7月です。なお、賞味期限が切れた離乳食、粉ミルクにつきましては、入替えを実施しております。 親子防災教室及び防災知識出前講座では、命を守る3つの自助（家具の転倒防止対策、災害用伝言ダイヤルの活用、3日以上の水・食料の備蓄）を中心に地震への備えについて具体的に分かりやすく伝えていく内容です。 平成27年度：親子防災教室6回、152人。防災知識出前講座3回、53人。 平成28年度：親子防災教室6回、175人。防災知識出前講座5回、193人。 平成29年度：親子防災教室6回、143人。防災知識出前講座7回、189人。